



校長室だより

令和5年7月4日 全校朝会

「まいにち笑顔 みんなが笑顔」



人を笑顔にする算数

今日は、ちょっと変わった、やさしい算数のお勉強をしたいと思います。
まずは、10年前にテレビで流れていたCMを見てください。

(ACJAPAN「おもいやり算」 <https://www.youtube.com/watch?v=hAP1PBhWrRM>)

「+」は助け合う。「-」は引き受ける。「×」は声をかける。「÷」は分け合う。
これを「人を笑顔にする算数」(思いやり算)と言っています。そして、最後に「ほ
ら、やさしいでしょ。」の一言がとても印象的です。

「助け合う」「引き受ける」「声をかける」「分け合う」は、どれも思いやりのある
行動です。困っている友達がいるのに気が付いても、声をかけたり、助けたりと、
行動を起こさなければ、その友達は何も変わりません。一人で掃除を頑張っている
友達がいたときに、「大変そうだな」と思っても、何もしなければ大変さは変わりま
せん。笑顔で手伝って少しでも引き受けてあげると、友達は助かり、きっと「あり
がとう」と思いやり返しの言葉が返ってくることでしょう。

だから、困っている人がいれば助け合い、一人が損をしている場面では笑顔で引
受け、よく声をかけ合い、喜びも悲しみも分かち合う関係が作れるといいですね。
そうすることで、喜びは掛け算のように膨れ上がり、悲しみはわり算のように少な
くなっていきます。

「情けは人の為ならず」ということわざもありますが、暗い夜道で人の足元に明
かりを灯してあげれば、自分の足元も明るくなるように、人にしてあげたことは、
必ず自分に戻ってきます。

是非、行動に起こして、やさしい算数「思いやり算」の得意な七小にしていきま
しょう。